

# 素敵に今を生きる ～小さな声をチカラにかえて～ PART 2



## 相原クラブ 4役のみなさん

会長 森田さん  
(写真:下段真ん中)  
副会長 生田目さん (下段左)  
波形さん (下段右)  
幹事長 星さん (上段左)  
会計 佐藤さん (上段右)



## 特集テーマは「地域のつながり」

令和の「今」を生きる人たちに焦点をあて、紹介する令和元年ひだまり特集の第2弾。

今回は「地域のつながり」をテーマにしてみました。少子高齢化が着実に進む中、コミュニティの力が弱まっているとも言われます。そのような中、地域の高齢化問題を自分たちで考え、行動しようと2017年に立ち上げた「相原クラブ」のみなさんにお話しを伺いました。

インタビューに答えてくださったのは森田会長、生田目副会長、波形副会長、星幹事長、佐藤会計の相原クラブ4役の皆さんです。

(記事にするにあたり、内容を再構成しています。)



### Q. 相原クラブの活動はどのように内容を決めているのですか？

生田目さん：会員のみなさんと問題提起をして確認しています。これは年 1 回の総会の確認事項でもあります。総会で出た意見を役員会が具体化して、みんなの総意という形で活動にも繋げています。

森田さん：誰か 1 人のリーダーが意見を出して引っ張っていくのではなく、みんなで意見を出し合い、案を練って実行していくという形です。

### Q. 相原クラブはたくさん活動されていますが、活動についていくつか詳しく内容を教えてください。

#### ●ふれあいトーク

生田目さん：会員の皆さんが自由に集まって、フリートークでもしたいねということで始めました。ただし、テーマを決めないと中々進まないということが分かりまして。最近は、一つのテーマを設けて、奇数月の第 3 水曜日に集まっています。

佐藤さん：7月のテーマは「カラオケ」です。ただもうみんな、自由に歌ってくださいということで、『カラオケ大会』ではないです。

生田目さん：案内には、飲み物が必要な人は自分で持ってきてくださいと書いてあります。

波形さん：歌っている人もいれば、聞きながらおしゃべりしている人もいます。囲碁将棋コーナーも併設しているので、そちらで楽しむことも出来ます。

生田目さん：気軽に開催、参加できるようにしています。あんまり体系づけないようにしていますね。

波形さん：私はビールとおつまみ持っていきますよ。

生田目さん：私は焼酎。

佐藤さん：私はお茶だけ。参加する側も気楽な感じで行けますね。

生田目さん：何々大会としてしまうと、堅苦しい雰囲気になってしまうので。好きなように過ごしてコミュニケーションができればいいかなと思っています。

佐藤さん：遺産相続や高齢者の運転などをテーマにして勉強したり、自由に話したりもしています。

生田目さん：テーマは役員会で意見を聞いて、その中から決めています。「次どうしようかー」くらいの楽な雰囲気で聞いていますね。

## ●防犯パトロール

森田さん：会員のみなさんが、「相原クラブに入っていてよかったなあ」とほっとするような相原クラブにしたい。同時に「入っていない人については知らないよ」という訳にもいかないの、その人たちも含めてどうしようかということになりました。

星さん：会長から防犯パトロールでもやろうかという話が出たので、会員以外の人も含めて高齢者の人たちを訪問してみようかということになりました。この防犯パトロールはまだ新しい取り組みで、去年の9月くらいから始まりました。相原区内の高齢者世帯を年代ごと色別にして町内を把握し、対象者を訪問しています。

生田目さん：パトロールと言っても、ぶらぶら区内を回っているだけではなく、訪問もしているということが大切です。

波形さん：防犯パトロールは2班の交代制で月に2回行っています。認識を一致させるために、活動日誌があり、次のパトロールに伝えられるようにしています。

生田目さん：前々回の活動日誌には、「訪問に回った人の電話番号を訪問した家に残していくのはどうなのか」という記録があったので、役員会で議論しました。星幹事長が民生委員であるため、幹事長の名前を残すようにしようとなりました。活動を通じて、気付いた課題を放置しないでみんなと改善につなげていきます。

星さん：私たちは自分個人のためだけではなく、区のため地域全体のための底上げに発揮しているのだという自信と誇りが、「じゃあやろう」ということに繋がっているのだと思います。「大変だね」ではなく、「工夫してやろうか」という言葉が出てくるのはその部分があると思います。

波形さん：理屈ではわかるけれどとなると、なかなか足が踏み出せないじゃない。そこを理屈でわかっているならやろうよとなるのが、相原クラブのいいところですよ。

## ●健康増進・清掃活動

森田さん：月に1度、各自家から集合場所の公園までゴミ拾いを行い、公園でラジオ体操やストレッチをして、また駅までゴミを拾いながら返ってくるという活動をしています。

波形さん：定期的な清掃以外にも、小畔川の土手を含めてゴミが多いので去年清掃を行いました。今年の春も実施して、次は12月に予定しています。

星さん：この活動は環境課にも協力をお願いして、回収車を派遣してもらっています。拾ったゴミは公園に一度置くので、都市計画課にも許可を貰っています。毎回ちゃんと役所に行って借用書とかを書くわけです。少しめんどうくさいとは思いますが…。もし行政に「そんなこと知るか、勝手にしろ」と言われてしまったら、地域で頑張っている人もやる気を失ってしまいますよね。役所も「我々がきちんとやりますよ」と示せば、協力してくれます。お互いにキャッチボールしていく必要があるのかなと思います。

～老人クラブではなく、高齢者クラブです！～

結成前の準備会の時、老人クラブという言葉をつかったら、みなさんに怒られてしまいました。老人と言うと、いかにも老いて下降線にあると聞こえてしまうと。我々は年を重ねるだけで、右肩上がりしかないと。それ以降、老人クラブではなく高齢者クラブですと言っています。



## ●作品展（今年度実施予定）

佐藤さん：今度初めて、相原クラブだけではなくで、区民ならだれでも出展できる作品展も行う予定です。場所は公会堂で行います。

星さん：あまり遠くで行うと、そこまで行けない人もいます。町内会の人たちが歩いて行ける範囲となると、公会堂が良い距離感ですよ。

森田さん：会員の中でも、どのような人がいるのか把握しきれないところがあります。呼びかけて出品してもらうことによって、こういう人はこういう趣味で、こういう活動をやっているということが分かり、作品づくりについて、お話を伺ったり、意見交換をしたりする中で親睦も深まります。例えば俳句など、体調や足が悪くても、好きな人は家でやっているのではないかという思いがあります。裾野広く呼びかけて、作品として出していただければ、参加のきっかけになります。

星さん：外での活動に来られない人でも、作品だけなら提出できます。もちろん、そういう趣味がある人になります。

森田さん：普段の活動に積極的に参加することが出来ない人もいます。文化活動の一環として、きっかけづくりとして、いろんな幅広い活動をこちらでも展開していかないといけないなあと考えています。





## ☆相原クラブニュース

星さん：相原クラブの活動は相原クラブニュースで周知しています。写真もふんだんに使い、2,3枚は入れるようにしていますね。

佐藤さん：星さんが相原クラブニュースを発行してくれています。ニュースに載せる写真も星さん撮影です。星さんは写真が好きなので、毎回素敵な写真を撮ってくれます。

星さん：月に1度くらい出るか出ないかという程度で発行しています。相原クラブのいいところですが、結成当時から「無理をしない」ということを大切にしています。無理をすると長続きしないですね。無理しなくていいから、長続きする活動にしようということを考えています。毎月発行しようとしたら疲れてしまい、無理が出てしまいます。今の発行ペースは私の都合なので、そこまで疲れません。

森田さん：相原クラブに加入しているけれど、色々と事情があり、中々活動に参加できない人にも活動を知ってもらう方法にもなっています。相原クラブの活動で集まるのは全体63名中30~40人ほどです。参加が出来なかった人たちにも、「参加したいな」「相原クラブなにしているのかな」という思いがありますよね。ニュースを読むことで、知ってもらえたらと思います。

また先月から、区の回覧でもニュースを回すことになりました。区の人たちは、相原クラブがあることは知っているけれど、どういう活動をしているのかは知らないという人も多いです。活動を知っていただいて、加入者も増えればという思いもあります。

星さん：いずれはニュースを手渡ししたいと考えています。手渡しというのは顔をあわせるので、つながり、一体感が生まれます。ただし、活動している人も忙しいので、どうしてもポストに入れての渡し方になってしまう。方向性として、いつかやれたらいいなと思っています。

